

artists

MAMORU FUJIEDA

HIROYA SAKURAI

VISUAL BRAINS

NAOKO TOSA

KAWASAKI CITY MUSEUM

TECHNOLOGY

ART

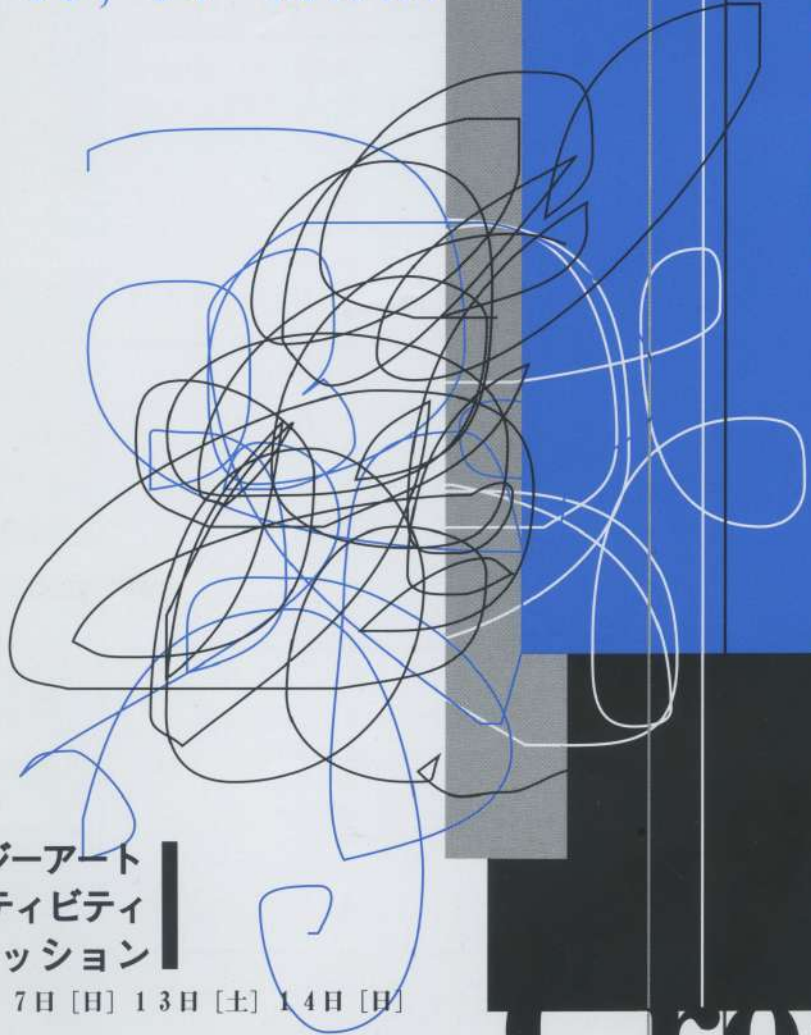
DISCUSSION

of

DISCUSSION OF TECHNOLOGY ART CREATIVITY

6, 7, 13, 14 MAR.

1 9 9 3



テクノロジーアート
クリエイティビティ
ディスカッション

3月6日 [土] 7日 [日] 13日 [土] 14日 [日]

川崎市市民ミュージアム

〒211 川崎市中原区等々力3049-1
開館時間 (9:30~17:00 金のみ20:00 月曜休館)

Creativity

Discussion of TECHNOLOGY ART Creativity Vol.1

テクノロジーアート クリエイティビティ ディスカッション

エレクトロニクステクノロジーの操作だけで生まれる作品がテクノロジーアートではありません。このワークショップは、エレクトロニクステクノロジーの行方をつかまえるために、アートワークの視点からディスカッションを行います。最近の資料・未発表の構想などを提示しあって、創造意欲と作品制作のアイデアやプランを生み出すことを目指して、作家を招いて限定人数でディスカッションします。ご参加メンバーによって、出されたアイデア及びプランはアートサポートとして保護し、企画案・データとしての著作物としてまとめていきます。

[Vol.1 テーマ] 1.現実社会に対する気分 2.アートの概念とコンセプト 3.最近の関心事と今後のプロポーザル 4.テクノロジーに対する疑問

[日時・作家・キーワード]

3/6(土) 13:00~15:00 藤枝守 変容・環境・空間・ヴァイブレーション 7(日) 14:00~16:00 櫻井宏哉 存在・遺体・肉体・メモリアルパーク
13(土) 14:00~16:00 VISUAL BRAINS 情報操作・バランス・日本人アイデンティティ 14(日) 14:00~16:00 土佐尚子 人工生命・生殖・遺伝子・ウイルス

- 会場 川崎市市民ミュージアム 3F ミニホール ●参加料 各回とも1,000円(各回資料付き) ●人数 先着予約順30名まで
- インスタレーションは3月1日~3月21日まで、開館時間内に無料でご覧になれます。但し、ディスカッション参加は予約して下さい。
- 受付 電話予約 2月23日(火)9:30より 川崎市市民ミュージアム講座受付 044-754-4500 ※問い合わせ 044-754-4526 映像担当 濱崎

ARTIST PROFILE 参加アーティストプロフィール



藤枝守 Mamoru Fujieda 6日(土) 13:00~15:00

カリフォルニア大学(USCD)へ留学音楽部博士過程修了。89年帰国。下降音階のパターンを素材にしたピアノ作品シリーズ=フォーリングスケールを始めバッハのカンを原型とする=遊星の民話シリーズを行う。作曲作品はISCM音楽祭やレクナボ音楽祭など、多くのフェスティバルで上演されている。近年は、コンピュータを使ったパフォーマンスやインスタレーション・コラボレーションを行う。



in SOUNDCULTURE1991



櫻井宏哉 Hiroya Sakurai 7日(日) 14:00~16:00

1981 SCAN'81年 Autumn 1982 第4回ビデオビエンナーレ 日本ビデオフェスティバル(パリ)
1983 オクワ国際アートフェスティバル ビデオアート(福岡美術館) 1984 第15回日本国際美術展(東京都美術館) ワールドワイドビデオフェスティバル CONTINUUM'85(メルボルン) 1991 個展(Gアートギャラリー東京) 英国ジャパンフェスティバル 1992 第5回ビデオナレ(日本文化会館ケルン)など。

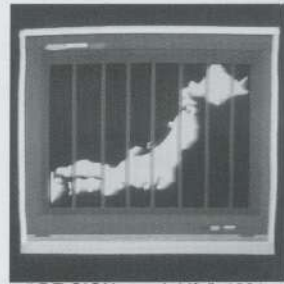


"TV TERRORIST" 1987



VISUAL BRAINS 風間 正+大津はつね 13日(土) 14:00~16:00

1981 TV映像制作会社を経てビジュアルブレインズを結成。
1987 イメージフォーラムフェスティバル入選 コンテンポラリーアートEXPO'87 日本ビクタービデオスカフェーション受賞
第3回ビデオナレ受賞 SCAN'90ピーター・カス賞受賞など、絵画・版画・写真・音楽・舞踏・パフォーマンス・CGなど。マルチメディアによる作品を発表し様々なジャンルで活躍。
1992 DEUTSCHER VIDEOKUNSTPREIS'92 ドイツKarlsruhe。



"DE-SIGN stand:drift" 1991



土佐尚子 Naoko Tosa 14日(日) 14:00~16:00

1982 CG&ビデオアート作品制作。ビデオアートグループビデオカケル参加。映像と演劇のコラボレーションを試み、如月小春主宰 劇団NOISEの作品「MORAL」シリーズに参加。
1989 バーチャルリアリティ仮想生物について富士通研究所との共同研究で美的実験、作品展開。
1992 電子メディアプロダクション(有) 情報美学研究所設立。



"POINTS OF VIEW" 1991